

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年1月24日

【四半期会計期間】 第6期第2四半期(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

【会社名】 株式会社JCLバイオアッセイ

【英訳名】 JCL Bioassay Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 靱山 邦男

【本店の所在の場所】 大阪府豊中市新千里東町一丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンタービル

【電話番号】 06-4863-5020 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 久保 明

【最寄りの連絡場所】 大阪府豊中市新千里東町一丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンタービル

【電話番号】 06-4863-5020 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 久保 明

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年11月12日に提出いたしました第6期第2四半期(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間における生産実績を、セグメント別に示すと次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------------|----------------|------------|
| バイオアナリシス(西脇ラボ) | 238,698 | — |
| バイオアナリシス(大阪ラボ) | <u>108,794</u> | — |
| バイオアナリシス(米国ラボ) | — | — |
| 医薬品品質安定性試験 | <u>41,388</u> | — |
| 合計 | 388,880 | — |

(注) 1 当連結会計年度よりセグメント別に記載しているため、前年同四半期比率の記載はしていません。

2 金額は、製造原価によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間における生産実績を、セグメント別に示すと次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------------|---------|------------|
| バイオアナリシス(西脇ラボ) | 238,698 | — |
| バイオアナリシス(大阪ラボ) | 79,159 | — |
| バイオアナリシス(米国ラボ) | — | — |
| 医薬品品質安定性試験 | 71,022 | — |
| 合計 | 388,880 | — |

- (注) 1 当連結会計年度よりセグメント別に記載しているため、前年同四半期比率の記載はしていません。
2 金額は、製造原価によっております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが見られたものの、雇用環境は引き続き厳しく、さらに、急激な円高、デフレの継続、輸出や生産の鈍化等、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループがサービスを提供している医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進や長期収載品の薬価引き下げ等の医療費抑制政策、大型新薬の特許切れが相次ぐ「2010年問題」に直面するなか、「新薬創出加算」の試行導入等もあり、製薬会社にとって新薬開発がより一層重要な課題となっております。また、海外でのM&Aや研究開発拠点の海外シフト等により、グローバル化が進んでおります。

このような環境の中、当社グループは、国内においては引き続き人材育成に取り組み、試験の早期終了、販路拡大等に注力してまいりました。また、米国においては試験受託を目指し、試験に必要な設備の導入・調整、これと併行して研究員のトレーニングを順調に進めております。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は598,843千円(前年同期比38.5%増)、営業利益は104,488千円(前年同期は32,122千円の営業損失)、経常利益は7,031千円(前年同期は40,726千円の経常損失)、四半期純損失は30,799千円(前年同期は36,503千円の四半期純損失)となりました。

当第2四半期連結会計期間における当社グループのセグメント別業績は次のとおりであります。

- ・ バイオアナリシス(西脇ラボ)
当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおりに終了できたこと、当第2四半期連結累計期間に受注し当第2四半期連結会計期間に終了できた試験が当初の想定より多くあったこと、並びに第3四半期以降に終了予定であった試験の一部を当第2四半期連結会計期間に終了できたこと等により、売上高は381,731千円、営業利益は72,678千円となりました。
- ・ バイオアナリシス(大阪ラボ)
当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験の一部において、終了時期が第3四半期以降に延期になったこと等により、売上高は126,381千円、営業利益は2,989千円となりました。
- ・ バイオアナリシス(米国ラボ)
試験開始前でありますので、売上高及び営業利益はありません。
- ・ 医薬品品質安定性試験
当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおりに終了できたこと、及び当第2四半期連結累計期間に受注し当第2四半期連結会計期間に終了できた試験が当初の想定より多くあったこと等により、売上高は90,731千円、営業利益は28,820千円となりました。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが見られたものの、雇用環境は引き続き厳しく、さらに、急激な円高、デフレの継続、輸出や生産の鈍化等、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループがサービスを提供している医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進や長期収載品の薬価引き下げ等の医療費抑制政策、大型新薬の特許切れが相次ぐ「2010年問題」に直面するなか、「新薬創出加算」の試行導入等もあり、製薬会社にとって新薬開発がより一層重要な課題となっております。また、海外でのM&Aや研究開発拠点の海外シフト等により、グローバル化が進んでおります。

このような環境の中、当社グループは、国内においては引き続き人材育成に取り組み、試験の早期終了、販路拡大等に注力してまいりました。また、米国においては試験受託を目指し、試験に必要な設備の導入・調整、これと併行して研究員のトレーニングを順調に進めております。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は598,843千円（前年同期比38.5%増）、営業利益は104,488千円（前年同期は32,122千円の営業損失）、経常利益は7,031千円（前年同期は40,726千円の経常損失）、四半期純損失は30,799千円（前年同期は36,503千円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結会計期間における当社グループのセグメント別業績は次のとおりであります。

・ バイオアナリシス（西脇ラボ）

当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおりに終了できたこと、当第2四半期連結累計期間に受注し当第2四半期連結会計期間に終了できた試験が当初の想定より多くあったこと、並びに第3四半期以降に終了予定であった試験の一部を当第2四半期連結会計期間に終了できたこと等により、売上高は381,731千円、営業利益は72,678千円となりました。

・ バイオアナリシス（大阪ラボ）

当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験の一部において、終了時期が第3四半期以降に延期になったこと等により、売上高は126,381千円、営業利益は32,624千円となりました。

・ バイオアナリシス（米国ラボ）

試験開始前でありますので、売上高及び営業利益はありません。

・ 医薬品品質安定性試験

当第2四半期連結会計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおりに終了できたこと、及び当第2四半期連結累計期間に受注し当第2四半期連結会計期間に終了できた試験が当初の想定より多くあったこと等により、売上高は90,731千円、営業損失は814千円となりました。

第5 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|-----------|-----------|
| | バイオアナリシス (西脇ラボ) | バイオアナリシス (大阪ラボ) | バイオアナリシス (米国ラボ) | 医薬品品質 安定性試験 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 669,533 | 180,035 | — | 152,373 | 1,001,942 | 1,001,942 |
| 計 | 669,533 | 180,035 | — | 152,373 | 1,001,942 | 1,001,942 |
| セグメント利益又は損失(△) | 105,157 | <u>△13,479</u> | — | <u>18,432</u> | 110,109 | 110,109 |

(注) バイオアナリシス(米国ラボ)については試験開始前でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|---------|---------|
| | バイオアナリシス (西脇ラボ) | バイオアナリシス (大阪ラボ) | バイオアナリシス (米国ラボ) | 医薬品品質 安定性試験 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 381,731 | 126,381 | — | 90,731 | 598,843 | 598,843 |
| 計 | 381,731 | 126,381 | — | 90,731 | 598,843 | 598,843 |
| セグメント利益 | 72,678 | <u>2,989</u> | — | <u>28,820</u> | 104,488 | 104,488 |

(注) バイオアナリシス(米国ラボ)については試験開始前でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|-----------|-----------|
| | バイオアナリシス (西脇ラボ) | バイオアナリシス (大阪ラボ) | バイオアナリシス (米国ラボ) | 医薬品品質 安定性試験 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 669,533 | 180,035 | — | 152,373 | 1,001,942 | 1,001,942 |
| 計 | 669,533 | 180,035 | — | 152,373 | 1,001,942 | 1,001,942 |
| セグメント利益又は損失(△) | 105,157 | 16,155 | — | △11,202 | 110,109 | 110,109 |

(注) バイオアナリシス(米国ラボ)については試験開始前でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|---------|---------|
| | バイオアナリシス (西脇ラボ) | バイオアナリシス (大阪ラボ) | バイオアナリシス (米国ラボ) | 医薬品品質 安定性試験 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 381,731 | 126,381 | — | 90,731 | 598,843 | 598,843 |
| 計 | 381,731 | 126,381 | — | 90,731 | 598,843 | 598,843 |
| セグメント利益又は損失(△) | 72,678 | 32,624 | — | △814 | 104,488 | 104,488 |

(注) バイオアナリシス(米国ラボ)については試験開始前でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。